(1曲/			<u> </u>	ガチ木町両ノ				<u> </u>	20 平	υ)-	<u> п</u>	TFIX		
事務事業	口サービス部		— 総務-08	財政事務	_				_		_			
No./名 称	■支 援 部	門												
主管課	財政課			関連課	関連課									
分野名	行財政運営													
目標	ᅁᄱᄵᄀᄶᅘ	1.1、吐华!	- BDI + : 公 B+	ひま 一の 性筋										
(目標値)	21世紀の新しい時代に即した行財政運営の構築													
人口等の	データ区分 24年度 23年度 22年度 備 考													
データ	人口		7,224人		7,204人			177,161人			4月1日			
	世帯数	79,	669世帯	79,	217世帯		78,812世帯			(住民				
	事業の対象者数													
運営資源	決算値(千円)	,	3,827		4,178			2,033						
状 況	(国・県)		0		0			0						
	(負担金等)	,	0 3.827		0			0						
	(一般財源)	,	6.0		4,178 6.0			2,033 6.0						
	人員配置数	-	51.515	-	55.192			56.125						
	協働の		71,010		33,192 30,123									
	が一トナー													
事務事業	総事業費(千円)	5	55.342	F	59,370 335 749			58,158 328						
運営経費	市民1人当		-,											
	りの経費(円)		312											
	対象者1人													
	当りの経費(円)													
ベンチマーク	団体名⇒	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田	原市	逗子市	秦野市	ħ _	厚木市	大和市		
(県内外自治体	経常収支比率	95.9	91.1	94.9	92.4	90	.4	98.9	90.1		98.4	92.3		
や民間団体と	実質公債費比率	0.4	4.6	2.8	3.3	10	.2	5.0	5.5		3.7	4.1		
の比較値)														
指標		評価	年度	21年度	22年度	Ę	23年度		244	24年度		最終年度(27年度)		
			目標値											
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			実績値											

評価のポイント

	日間のハーフー				
	評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。		事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的 な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
		③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した 場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

十十米に口られるが 千米の計画(111111111111111111111111111111111111111	, NO. P.									
小事業名	H24決算値	評価	適切=〇、	要改善=△(評価	面の視点を参照)	⇒	方向性		€・拡大 B: ₹ 合縮小 E: 廃		∷改善・見直し
	3,827千円	①効率性	〇 ②妥当性	○ ③有効性(② ④公平性 C) ⇒	□A	■B	□C	□D	□E
財政事務	事業の概要				管理に係る事務 率の算定・公開		事務				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										

事務事業の課題及び取組状況

中の中木の床返及び収組への										
	予算編成、予算執行管理を円滑に実施し財政の効率化を図っていく。また、新公会計制度の導入や財政の健全化に関する法律に基づく指標の公開など事務量が増大する傾向にあるので、より効率的な事務処理が求められる。									
理算般油のための取組	包括予算制度の試行導入、財務会計システムの更新及び事務執行の効率化を進めることにより、事務の円滑な執 行を図っていく。	取組の結果	□解 決 ■未解決							
未解決の課題	事業を執行するのに必要な財源が十分に確保されておらず、財政運営の健全性が十分に確保されていない。									

中事業の評価と今後の方向性

		適切=〇 要改善=△ (評価の視点 を参照)	①効率性	0		A:充実·拡大 B:現状継続C:改善·見直LD:統合縮小 E:房	·休止	※□事業完了
			②妥当性	0	今後の	包括予算制度本導入等により、持続可能な財政運営を行うとともに、超過勤務削減などにより、効率的な事務処理を 進める。	1	課長等名
-	中事業の評価		③有効性	0	方向性		_	課長(代理)
		7	④公平性	0		進める。	В	内海 正彦

(2面) 個別事業の評価 (単位:千円)

(2個) 他別事未			for our straits, for	24年度予算		(単位:十円) 評価→適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)					
小事業名		ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性		
財政事務	主な個別事業	476	事務補助嘱託員報酬 財務書類作成支援業務等委託料 起債管理システム使用料	1,029 2,170 189	1,029 2,170 189	0 0	0 0 0	000	0 0 0		
	主な個別事業										
	主な個別事業										
	主な個別事業										
	主な個別事業										